



発行所 愛知県山岳連盟
 発行人 安藤 武典
 編集人 中平等 新一
 名古屋市中平区中平3-1902
 TEL&FAX 052-802-8062

◇9月26日 愛知県民登山教室①猿投山 <http://www.geocities.co.jp/Athlete/1653/>



木曾駒ヶ岳(中岳)方面から宝剣岳

—あちこち残雪のある千畳敷カールは登山者で賑わい木曾駒ヶ岳を
 目指す。山頂では静かに噴煙を上げる御嶽山が望まれた—

PHOTO 中平等新一

平成27年度指導員総会開く

事業活動報告と今後の方針
 指導員の資格状況の掌握など

平成27年度指導員総会が、6月23日(火)午後7時30分から県スポーツ会館で行なわれました。

まず、木田委員長が挨拶をして進行役となり、次のとおり26年度の事業報告があった。

- ・5月18日 読図講習会 大高緑地(一般37名、指導員4名)
- ・5月19日 第1回勉強会 県スポ(10名)
- ・5月27日 第1回勉強会 東三(16名)
- ・6月7、8日 日山協指導員総会 東京(木田委員長)
- ・6月14、15日 確保技術講習会 鞍ヶ池公園(一般26名、指導員8名)
- ・6月23日 指導員総会 県スポ(14名、委任状30名)
- ・10月7日 第2回勉強会 県スポ(8名)
- ・10月14日 第2回勉強会 東三(4名)
- ・10月24、25日 救助技術講習会 鞍ヶ池公園(一般15名、指導員11名)
- ・1月13日 指導員集会 東三(5名)

以上の通り報告があり、つづいて26年度の会計報告がされ、いづれも承認された。そして愛知岳連の事業計画、日山協指導員総会の説明があった。また、愛知岳連指導員の資格状況についての説明がされた。

その他の項目として、他県より指導員養成講座についてその指導方法について修得したいとの依頼があること等が述べられた。

最後に、名誉指導員の規定はどうなっているのか。総会の他に集会を2回設けているが、必要がないのでは。指導員のための指導要領について、研修会を定期的に行うかどうか。などが話し合われ今後の課題とした。

- ・1月20日 指導員集会 県スポ(8名)
- ・2月10日 第3回勉強会 東三(12名)
- ・2月17日 第3回勉強会 県スポ(22名)
- ・2月28日、3月1日 冬山技術講習会 大日ヶ岳(一般15名、指導員7名)

第1回気象講習会

講師に田辺先生を迎え 26人が受講

第1回の気象講習会が6月14日、愛知県スポーツ会館で行なわれました。講師に高体連OBの田辺元祥先生を迎え、気象通報の聞き取り方や天気図の作成方法、季節の特徴ある天気や予報知識などの講習を受けました。参加者は、山岳会から5人と高校生が21人の26人でした。

次回、第2回の気象講習会は9月6日に豊川高等学校にて開催される予定です。

(岩狭 満)

気象講習会を受講して

やまびこ山想会

三嶋 信

以前、剣沢と薬師の太郎平のテント泊で台風のような暴風雨にあつて苦労したことがあった。別に天気図に台風がある訳でもない。何故こんな天気になったのか？以前から気象について一度勉強したいと思っていました。「気象講習会」の案内を聞きすぐに

申込みました。

午前中は天気図の書き方、午後は天気図の見方と山の天気について、天気図の書き方の説明と一緒に基礎的な気象の話がありました。そうか、低気圧から東に伸びるのが温暖前線、西に伸びるのが寒冷前線か！基礎的なことを全く知らなかったことに気が付きました。二つ玉低気圧の話も面白かった。

これを機会に、ただ天気予報を見るだけでなく、天気図を見て今後の天気が予測できるように、更に知識を深めていきたいと思えます。



平成27年度理事

伊藤智彦(高体連) 木田光彦(アイシン精機) 水野史朗(イノアック) 永田昌美(岡崎山岳会) 岩瀬幹生(蒲郡山の会) 豊田豊美(春日井山岳会) 加藤和美(嶺山岳会) 織田善夫(中京山岳会) 伊藤敦彦(中央アルパイン) 斎藤健一郎(トヨタ自動車) 井樋哲也(豊田自動織機) 森田金明(豊田山岳会) 白井良岳(豊川山岳会) 小林孝誌(DAC) 水野起己(東海電々) 久保田正紀(名古屋山岳会) 鬼頭健一(名古屋)

山の会) 安島正交(名古屋白熊山岳会) 井口朋美(NGH) 石原博之(名古屋漢稜会) 杉本三郎(名古屋テクテク山岳会) 森辰夫(名古屋登稜会) 荻須昭大(RCC) 神戸和広(デンソー) 山下利明(プラザ工業) 島航太郎(碧稜山岳会) 木村行宏(三菱電機名菱会) 畠山大樹(三菱重工名古屋) 佐藤春彦(三菱重工名誘) 市川義行(JAC) 田中芳晴(名古屋道い松山岳会) 十倉崇行(愛知県庁) 野間修(安城こもれび会) 中山秀樹(豊橋山岳会) 岡崎亮太(名古屋ACC) 青木清隆(名古屋)

FMC) 有馬一夫(愛知山岳会) 鈴木清彦(愛知学院大) 浅井慎平(愛知医科大) 羽田明史(GSA) 原田泰輔(千種アルパイン) 水野保夫(MMC岡崎) 野口和人(犬山山岳会) 内藤善一(やまびこ山想会) 清水敏春(名古屋山桂会) 山田義清(山歩の会) 片田保彦(岩倉山岳会) 西山秀夫(東海白樺山岳会) 樺村謙(嶺山友会) 中村久(名古屋愛山会) 辻雅彦(FRC) 酒井彰彦(三河くらぶ) 渡邊正輝(チーム猫屋敷) 青山洋一(まつり山楽会)

東海四県正副会長理事長会議

遭難事故防止や自然保護活動報告 「山の日制定」記念事業について

平成27年度東海四県正副会長理事長会議が、5月23、24日三重県のニューハートピア温泉で開かれました。各県から14名が出席し、愛知県から安藤会長と北村理事長が出席しました。

会議は、各県の近況と懸案事項を話し合い、また懇親をはかることを主とし、今回は指導、遭難、自然の各委員長会議も行なわれました。

各県の活動状況は以下のとおりです。

(静岡) 個人会員制度の導入を始めた。パンフレットを作り、常念岳に登ろうをスローガン(最終講習会)に、座学から実践登山に向けての講習会を4回セットで実施。この中で個人会員、各会への入会者の発掘につなげていく。また、富士山における遭難事故防止と自然環境保全のための

ガイドラインの制度について説明があった。

(岐阜) 自然保護は自然観察会のような企画はしておらず夜又ヶ池のヤシャゲンゴロウの保護や腕章をつけての登山者の指導をしている。登山届の提出条例についての説明、会長による遭難事故に対するスライド説明があった。

(三重) 自然保護委員会の活動報告と遭難対策委員会の報告。自然保護は各会ごとに活動をし、岳連が取りまとめる。また、遭難事故については昨年30数件の事故があり、救助活動について岳連が積極的に活動しており、この活動を

きっかけに人の輪も広がっている。

愛知県は、今年度の事業計画をもとに北村理事長が説明をした。

その他の議題として、①日山協から「山の日制定」記念事業として、各ブロックで行事をしてほしいとの依頼があり、東海ブロックは各県で行事を企画し、亀井理事を通して申請することになった。(各県5万円補助) ②日山協広報委員会から「ふるさとの

確保技術講習会・検定会

懸垂と自己脱出などの反復
宿泊先で貴重な意見交換!

6月20・21日確保技術講習会・検定会が、豊田市・鞍ヶ池公園に於て、受講者23人、指導員9人が参加して行われた。

縦走コースの3人は20日のみで、ツエルトビパークの方法、登り下りの歩き方とスビードコントロール、岩場のトラバースのコツ、ロープワークなど基礎的な実技を行った。

また、岩の初・中級ではアンカーの取り方、流動分散、確保体制からの脱出、懸垂降

山」に登ろうをテーマに各県の山の紹介(子供に登ってもいい山など、山の遺産)について原稿を募集されておられ、愛知県は来年1月号掲載予定で、10月までに原稿、写真を提出する。③指導員の研修会を各県横通しで実施したい。しないと開催できないとの話があり、日山協の指導員総会等でブロック内の意見を横通してもらったことになった。(安藤武典)



下、登り返し等を主に行った。一日目は3時30分に終え、

印象に残った私の登山

ジャンル別の思い出

伊藤 敦彦

印象に残った私の登山と聞かれて、困ってしまいました。何故なら、其々の山の個性を楽しみ、それぞれの思い出がある。ジャンル分けして、纏めてみた。

- ▽ピークハント＝利尻岳・鬼脇から杓形へ下山した。海拔0mから登る魅力を堪能し、高度を上げて行くと、笹の中に見渡す限りの日本海が続いていた。青く綺麗だった。
- ▽縦走＝冬の西穂高から奥穂高へ。また駆け出しの頃、先輩に連れて行ってとお願ひし縦走できた。緊張感で余裕はなかったが、すべてを助けられ、実現出来た感謝の山行でもあった。
- ▽岩登り＝谷川岳一の倉沢南稜・仰ぎ見る一の倉は、畏怖を感じる。テールリッジを登って行くと、圧倒的な岩の御殿に心が吸い込まれていく。南稜を登る頃は、岩場と一心同体になっていた。
- ▽沢登り＝立会合本流・何と言っても、奇妙な滝の連続

3

である。遡る人を虜にします。その先に何があるかを楽しみました。

▽雪山＝雄山東尾根・まだ関電トンネルを歩けた時代だった。人里離れた奥深い山中にいる事が嬉しかった。▽秘境＝知床岬・羅臼側より海岸沿いを走破した。山と近い海が怖かった。近くに国後島を見ながら、海に流れ込む直前の沢の水を飲む事ができる。手付かずの自然の素晴らしさを感じた。北方領土が返還されたら楽しいだろうな。

▽達成感＝戸隠本院ダイレクタ・総合力が必要な山である。岩・雪壁・垂直のブッシュ・きのこ雪・雪稜などが混在していて、行きつ戻りつ、ルートファイナインディングが面白い。僅かな距離も意外と時間を費やしてしまう。何時もは、張網の支点になるだけのスノーバードも、今回は大活躍であった。山行を終えた時は、夢が叶い満足だった。

名古屋駅前の山用品専門店

駅前アルルス

〒450-0002
名古屋市中村区名駅4-4-10
名古屋クロスコートタワー 1F
TEL 052-565-1417

Renopoint
http://www.renopoint.jp
Original Wear & Goods
オリジナルウェア・CMウェア (広告掲載)
カジュアルユニフォーム&グッズ
デザイン・企画・制作
お気軽にお問合せ下さい。
特許出願 GLASS PERCH(グラスパーチ)

株式会社リノポイント 〒491-0835 愛知県一宮市あずら1-5-7
TEL:0586-58-5021 FAX:0586-58-5022 E-mail: ito@renopint.jp